



インフルエンザ流行による閉鎖措置の実施

INFLUENZA



11月25日(火)に生徒のインフルエンザ罹患による出席停止者およびインフルエンザ様症状での欠席者が急激に増えました。このことを受け、学校医とも相談し、急遽ではありましたが、11月26日(水)～27日(木)の学校閉鎖、そしてインフルエンザ罹患者の最も多かった1年生は28日(金)の学年閉鎖の措置をとりました。

保護者の皆様におかれましては、これらの措置へのご理解とご協力、大変ありがとうございました。

今週に入り、本校でのインフルエンザ罹患者は少なくなっていますが、報道でもご承知のように過去10年間で最大規模の流行予測もあり、今後も注意が必要です。

学校では、新型コロナウイルス感染症が流行した際の対応を参考に、

- ①手洗い・手指消毒、②換気、③咳エチケット、
④マスク着用、⑤体調管理
- …をお願いしているところです。

ご家庭におかれましても、以上のような点にご留意いただき、インフルエンザをはじめとする感染症の感染拡大を未然に防ぐことができるよう、重ねてのご理解とご協力をお願いいたします。

県学習状況調査行われる(1・2年)



1年生(県学習状況調査)



2年生(県学習状況調査)

12月4日(木)、全県一斉に中学校1・2年生を対象にした令和7年度秋田県学習状況調査が行われました。

調査は、国語、社会、数学、理科、英語、学習意欲等に関するアンケートの順に行われ、1年生は小学校6年生後半から中学校1年

前半の学習内容が、2年生は中学校1年生後半から2年生前半の学習内容が出題されました。

なお、この日は、3年生も7回目の確認テストを実施しました。

インフルエンザの学校閉鎖等で、予定より約1週間延期して行われた2日(火)の後期中間テストに続き、同じ週に2度の全校一斉のテストとなりましたが、緊張感を持って問題に向かっていました。



3年生(確認テスト⑦)

登下校時の手袋着用のすすめ



玄関前で生徒の皆さんの登校の様子を見ておりますと、気温が低くても手袋をせず、ポケットに手を入れている人や袖を伸ばしてその中に手を入れている人を多く見かけます。防寒対策をしっかり行なうことが、健康と安全を守るために大切です。特に手は冷えやすく、しもやけや皮膚トラブルの原因となることがあります。手袋を着用することで、次のような利点があります。

防寒効果：冷たい外気から手を守り、体温低下を防ぎます。

健康維持：冷えによる血行不良やしもやけを予防します。

安全性：雪道で転倒した際に受け身などがとりやすく、骨折などのけがの防止になります。

快適さ：暖かい状態で登校することで、授業への集中力も保ちやすくなります。

この冬は、ぜひ手袋を着用しましょう。

クマの建物侵入対策を講じました

県の自然保護課から「ツキノワグマの建物侵入対策について」という通知が発出されました。

その中に「(クマが)ガラスを認識しておらず、向こう側が見えることで通過しようとして(もしくは暗がりに入ろうとして)ぶつかった結果、ガラスが割れる」という事案への対策として、「ガラスの向こう側が見えないよう、また、ガラス面への映り込みを防ぐよう、飛散防止シート等を貼る」とあります。(山形県南陽市の小学校での実際の動画を紹介いたします。<右のQRコードを読み取ってご覧ください>)

本校では、校務員が早速対応し、写真にありますようなシートを生徒玄関、体育館玄関、そして体育館の非常口に貼っております。ご承知おきください。

なお、秋田県ではツキノワグマ出没警報を12月31日(水)まで延長しています。これまで同様、「徒歩での登下校の際には複数人で移動すること」や「クマ鈴で人間の存在をクマに知らせて不意の遭遇を避けること」などの注意を払い、人身被害の未然防止に努めていただきたいと思います。



クマ対策前（生徒玄関）



クマ対策後（生徒玄関）



ガラスにぶつかるクマ

大内スポーツ協会創立60周年記念式典

11月29日(土)に大内スポーツ協会の創立60周年記念式典が、総合交流ターミナル「ぱぱろっこ」で挙行されました。

協会は昭和40年(1回目の東京オリンピックの翌年)に10のスポーツ団体が集まって発足したそうです。その後加盟団体は14に増え、現在に至るそうです。

- ①バレー、②テニス、③スキー、④グラウンドゴルフ、⑤バドミントン、⑥陸上競技、
⑦射撃、⑧剣道、⑨野球、⑩銃剣道、⑪柔道、⑫ソフトボール、⑬ゲートボール、⑭卓球

生徒の皆さん、お家の方々、地域の皆さんはここにあるスポーツのうち、いくつ体験したことがあるでしょうか。

私は射撃と銃剣道以外は体育の授業や部活動の指導、レクリエーションとして体験したことがあります。

せっかく、大内地域で生活しているのですから、ここにあるすべてのスポーツの体験をできるとよいと思いました。ちなみに、今年度1年生は8月の宿泊研修の中で県立総合射撃場のビームライフルの射撃体験をし、本当に良かったと思います。



小野 祐佳 さん



さて、記念式典の後に行われた記念講演では、2021年に行われた東京オリンピックでカヌー女子カヤックシングル200mに出場した小野 祐佳さんが「起こること 全てに意味がある。」という演題でご講演なさいました。

小野さんは小学生の時の体験教室を通して「好き」になったカヌーでondonオリンピック出場を目指しました。しかし、その夢が叶わず、一度は競技を引退します。ところが、東京でのオリンピック開催が決定してから再び現役選手として復帰し、見事出場を果たすまでの道のりをうかがいました。

決して平坦でなかったオリンピック出場までの道のりは、振り返ってみるとどんなにつらかった出来事も全てがオリンピック出場につながる意味のある経験だったというお話をうかがい、充実した人生を送る上で「どんな出来事もプラスに捉えることの大切さ」を教えていただきました。